

- 2026年10月号 No.233 -



エコファミリーのみなさん、いつも環境活動へのご参加ありがとうございます。*ホームページからでも見られます

今月の環境イベントテーマ「平和と環境が支える私たちの暮らし」



私たちは毎日、当たり前のように買い物をし、食事をし、家族や友人と過ごしています。しかし、その当たり前の暮らしは、平和な社会と豊かな自然環境という土台の上に成り立っています。

世界では今も紛争によって多くの人々が不安な生活を余儀なくされる一方、気候変動による自然災害が各地で発生しています。こうした出来事を目にする、「自分には何ができるのだろう」と感じる方も少なくないのではないのでしょうか。

大きなことをする必要はありません。食品ロスを減らすこと、資源を大切に使うこと、地域の環境活動に関心を持つこと。あるいは、平和について学び、家族や身近な人と話し合ってみることも大切な一歩です。



環境も平和も、特別な誰かが守るものではありません。私たち一人ひとりの小さな行動や選択の積み重ねが、未来の暮らしにつながっています。

コープみえでは、環境活動や平和学習の機会づくりをすすめています。活動を通じて多くの組合員の皆さんと出会う中で、環境や平和を守るための方法は一つではなく、それぞれの立場でできることがあると感じています。この機会に、未来の暮らしや地域のために何ができるのかを考えるきっかけになれば幸いです。

今月のエシカルなお買い物

 **すりごま**
(白) 85g

三重県のメーカー
九鬼産業で製造しています！
チャックシール付きで
保存にも便利です！

10月4週企画 P1

注文番号 **014**

20%off 206円

(税込 222円)

通常本体価格 258円



エシカルプログラム対象商品ご紹介！

対象商品を1点利用いただくごとに1円を積み立て、三重県内の地域で活動する環境保全活動の支援に活用します。



対象商品を利用するという日々のお買い物が、地域の環境保全活動につながります。特別なことをする必要はありません。いつものお買い物を通じて、未来の三重につながる取り組みに参加することができます。ぜひ一緒に、地域の未来を育んでいきましょう。

商品一覧は、コープみえ
ホームページからも
ご確認できます



8 月度環境イベント

<今と昔を考える>

◇ 今は学校で3RやSDGSや施設の見学など、色々な面で知識をもっていますが、便利になったことで、長く使う事がなくなったと思います。これを機に、物を大切に必要以上に買わないことを心掛けていきたいです。

◇ 昔は物を大切に使うことはごく自然でした。今では、100円ショップや安価な品物が多く出回り、壊れていなくても、必要がなくなると簡単に捨ててしまう現状です。物を購入する時は、何であれ本当に必要か？考える習慣をつけたいです。



◇ 壊れた物を修理したり、使える物は何かに利用したりと昔は普通にしていたことが、使い捨てや短期間で買い換えるようになり、それがまた、リサイクルやSDGSという問題となって、子どもたちは学ぶようになる。世の中はぐるぐると回り、結局は昔に戻ろうとする。便利も不便であり、この環境を良くするために、考えたり行動していく次世代は大変だと思いました。

◇ 初めてペットボトルのリサイクルを聞いた時、中学生でした。ペットボトルを集めて、洗ってもう一度使うと思っていたので、他の人が使ったものって嫌だなあ〜、ペットボトルは買いたくないなあ、なんて友達と話をしていた頃です。今は、リサイクルにも慣れ、もったいない精神で、水筒を使ったり、パックを使用しない食品を選んで買ったりしています。物価も高いせいか「食べる分だけ、消費できる分だけ」をモットーに、ゴミを出さない精神で、これからも続けていきたいです。



◇ 亡き母は、「捨てる前にもう一度何かに使えないか考えてごらん」と言っていました。タオルは、雑巾にしました。布袋は、既製品を買わないで、レースなどをつけて作ったのを思い出します。



◇ 核家族化で何世代もの同居は珍しくなりました。祖父母から生活の知恵など多くの学びがありました。ものを大切にする、あるもので工夫する等々。今、石油問題で物価上昇や商品不足などがありますが、例えば安くて便利なプラスチック商品は、しっかりと考えて購入したいです。買ったものの眠っている商品もあると思います。

◇ 40年程前は、今より消耗品以外の値段がとて高かったように思います。必然的に次々と新しい物を買うわけにもいかず、大切にしていた面もありました。昨今、物価高になり、少しでも大切に扱いたいと思うようになりました。

◇ 「もったいない精神」を持ち続け、3Rを実行していくことが必要ですね。「もったいない精神」を子どもたちにも受け継いでほしいです。

◇ 環境のためでなく、「まだ使えるなら使う」「もったいない」という感覚が自然にあった時代に生まれた私は、今の「使い捨て」「壊れたら買い替える」感覚に未だについていけずにいます。日本の伝統工芸品は長く使えて修理も出来て、自然に還る素材であることも利点です。

◇ 「物を大切に使う」以前は当たり前の価値観として生活の中に根付いていて、親からいつも言われていました。我家には、母親が使っていたいろんな生活用品が残されていて、今でも私がそれを使っています。

♪なんでも書きたいコーナー

- ◇ 庭にかわらチップを敷きました。ヒートアイランドの防止になるとか…。期待しています。
- ◇ 床の水拭きにウェットティッシュをつけて拭いていましたが、最近、雑巾での水拭きも取り入れました。運動にもなるし、ほこりもスッキリ取れるので一石二鳥です。
- ◇ 8月は、ほとんど雨が降らず、我が家のお風呂は、屋根に取り付けてある温水器だけで過ごすことができました。ボイラー（灯油）は、一日も使用しませんでした。
- ◇ 夏休みの孫たちの訪問で賑やかな8月でした。危ない暑さで日中は室内で過ごすことが多く、小中学生の孫たちは一心不乱にめいめいのスマホを眺めていました。外遊びでの小競り合いも、小さな危険も無く、親にとっては「安心安全な遊び」なのでしょうが、生身の人とのコミュニケーションもトラブルも減り、他人の痛みを知る機会が消えていくことは、日々の陽気や自然環境への関心が無くなっていくことにつながるのではと心配です。
- ◇ この夏も地震や集中豪雨で、日本のあちこちで被害に遭われた方がみえます。四日市市も昨年、ゲリラ豪雨で駅前の地下駐車場内に雨水が入り込んで車が水没したニュースが全国に流れました。自然の力にはどうすることもできないけれど、環境破壊をしてきた人間への罰が与えられているような気がします。



◇ 物を捨てる時、この部品やこの紙は何かにまた利用できるのではとついつい物をためてしまいがちで、家族に注意されています。「でも、これを捨てなかったから、これができた」という事もあるので、やっぱり捨てるのに迷うばかりです。

◇ A3、A4の折り込みチラシを使って、手のひらサイズの袋を作ってみた。思いのほか、いろいろな用途がある。茶殻捨て、ちょっとしたゴミ入れ（バッグや車に入れておく）と重宝）、苗をあげる時の容器等々。チラシの再利用、脳トレ、手先の訓練、役立つと一石四鳥。年寄りにはもってこい。

◇ 最近、地域でやっている不用品交換会に初めて参加しました。誰かの不要な物が我が家では必要だったり、我が家には必要のなくなった物が、他の家庭で活用してもらえるのは嬉しいなと思いました。

◇ 今年は雨量が少なく、サツマイモとゴーヤ（グリーンカーテン用と食食用）の育ちが悪く、ゴーヤもあまり食べられませんでした。サツマイモも、つるが伸びずに、どれぐらい芋が成長しているか？気になりますね。いつも草取りなど大変でも、買ったものでは味わえない喜びがありますね。



編集後記



「もったいない精神」、私もです。なかなか捨てられなくて、気づくと物が増えてしまいます。もう少しスッキリしたいなと思いつつ、どこかで見極めないといけませんね。まずは、衣類から始めます。

